

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 14 日 (2014.8.14)

【公表番号】特表 2013-538133 (P2013-538133A)

【公表日】平成 25 年 10 月 10 日 (2013.10.10)

【年通号数】公開・登録公報 2013-056

【出願番号】特願 2013-518694 (P2013-518694)

【国際特許分類】

B 2 9 C 59/02 (2006.01)

C 0 8 F 290/06 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 59/02 Z N M Z

C 0 8 F 290/06

H 0 1 L 21/30 5 0 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 30 日 (2014.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のマイクロスケール及び／又はナノスケールの表面要素を備える耐スクラッチ性マイクロ構造化表面及び／又はナノ構造化表面であって、綿布及び総スタンプ重量 300 g を使用して、A・A・T・C・C・試験方法 8 - 1972 に従って 10 回の摩擦サイクルに供したときに本質的に変化せず、

1) 少なくとも 10 % の破断点での伸長率と、

2) 2 % 未満の不可逆的相対塑性変形（永久歪率）と、

3) 少なくとも 5 MPa の引張強度と、を有する高分子材料を備え、

前記高分子材料が、

a) 少なくとも 60 重量 % の、ポリウレタン、ポリアクリレート、エポキシアクリレート、シリコンアクリレート、及びポリエーテルアクリレートを含む群から選択される、1 つ以上の架橋可能なオリゴマー化合物及び／又は高分子化合物と、

b) 2 ~ 40 重量 % の、1 つ以上のアクリレート基、メタクリレート基、又はビニル基を含有する紫外線硬化性モノマーの群から選択される、1 つ以上の反応性希釈剤と、

c) 0.05 ~ 10 重量 % の、シリコン、フルオロケミカル、及び長鎖アルキル化合物を含む添加剤の群から選択される、1 つ以上の疎水性添加剤と、

d) 0 ~ 5 重量 % の 1 つ以上の光開始剤と、を含む、紫外線硬化性前駆体を硬化させることによって得られる、表面。

【請求項 2】

複数のマイクロスケール及び／又はナノスケールの表面要素を備え、水に対して少なくとも 90 ° の静的接触角を有する、疎水性マイクロ構造化表面及び／又はナノ構造化表面であって、

1) 少なくとも 10 % の破断点での伸長率と、

2) 2 % 未満の不可逆的相対塑性変形（永久歪率）と、

3) 少なくとも 5 MPa の引張強度と、を有する高分子材料を備え、

前記高分子材料が、

a) 少なくとも 60 重量%の、ポリウレタン、ポリアクリレート、エポキシアクリレート、シリコンアクリレート、及びポリエーテルアクリレートを含む群から選択される、1つ以上の架橋可能なオリゴマー化合物及び/又は高分子化合物と、

b) 2 ~ 40 重量%の、1つ以上のアクリレート基、メタクリレート基、又はビニル基を含有する紫外線硬化性モノマーの群から選択される、1つ以上の反応性希釈剤と、

c) 0.05 ~ 10 重量%の、シリコン、フルオロケミカル、及び長鎖アルキル化合物を含む添加剤の群から選択される、1つ以上の疎水性添加剤と、

d) 0 ~ 5 重量%の1つ以上の光開始剤と、を含む、紫外線硬化性前駆体を硬化させることによって得られる、表面。